

Ⅱ. 海域ワーキンググループの経過報告・今後の予定

1 海域ワーキンググループ会合の開催状況

令和元年8月1日 第1回会合開催（斜里町）

2 <第1回会合の主な内容>

(1) 平成30年度 長期モニタリング項目評価調書(案)について

平成30年度の長期モニタリング項目評価調書及び資料集の状況について事務局から説明しました。

今後、評価を実施することとしました。

【 今年度から活用する評価調書の整理内容 】

- モニタリング項目を5つに分類
 - 1 海洋環境：水温・水質・クロロフィルa・プランクトンなど、海氷、有害物質
 - 2 魚介類：生物相、スルメイカ、サケ類、スケトウダラ
 - 3 海棲哺乳類：アザラシ、トド、シャチ
 - 4 鳥類：海鳥類、海ワシ類
 - 5 地域社会
- 第3期海域管理計画から追加された指標種「スルメイカ」と「シャチ」を追加
- 評価調書に記載するデータと資料集に分けて記載
- 新たに、「分類評価」と全てのモニタリング項目の評価を考慮した「総合評価」を記載

(2) 長期モニタリング計画の評価項目の評価について

I～Ⅷまでの評価項目に対し、今後どのように評価していくか、進め方に対し意見交換を行いました。

(3) 第43回世界遺産委員会決議事項について

第43回世界遺産委員会決議事項について、事務局より方向性について提案しました。

- ・ 水漁機構協力依頼（特定非営利活動法人 水産業・漁村活性化推進機構）
- ・ トド管理ワーキンググループ検討会において議論
- ・ 科学委員会から正式要請

(4) その他

今後の予定について

- 令和2年2月 令和元年度第2回海域ワーキンググループ会合を予定しています。
- 平成30年度の状況について、長期モニタリング項目評価調書により評価を実施します。
- 定期報告書を作成します。
- 第43回世界遺産委員会決議に対する保全状況報告(案)を作成します。
- 海域ワーキンググループ設置要綱改正について
- 海域ワーキンググループにおける目的の文言修正及び新委員就任のため、要綱改正案を提案しました。